

带状疱疹ワクチン

接種を受けた後の注意

監修／浅田秀夫 先生(奈良県立医科大学皮膚科教授)

1

予防接種を受けた後30分以内に、まれに急な副反応が起こる場合があります。接種後30分程度は医療機関の近くにいるか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。



2

接種後4週間は副反応の出現に注意しましょう。

3

副反応として接種後に発熱、発疹や局所の発赤、腫脹(はれ)、しこりが見られることがあります。また、まれにアナフィラキシー、けっしょう ばんばんしょうせい し はんびょう血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎がおきることがあります。



裏面も必ずお読みください。



4

接種部位は清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は可能ですが、接種部位をこすることはやめましょう。



5

次の接種で他の生ワクチン(MR、おたふくかぜ、黄熱など)を接種をする場合は「27日以上の間隔」をあけてください。次の接種で不活化ワクチンを接種する場合は決まった接種間隔はありません。また、他のワクチンと同時に接種する場合は医師に相談してください。

6

妊娠をしている女性、および妊娠している可能性がある女性はワクチンを受けることができません。また、ワクチン接種後は少なくとも2か月間妊娠をさける必要があります。



7

接種後は普段どおりに生活ができますが、激しい運動は避けてください。

8

接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

医療機関名



武田薬品工業株式会社